

果肉の色合いが良く良食味  
加工・業務用に向く短節間性かぼちゃ

# くりひかり

「くりひかり」は、平成27年度に品種登録された、果実が大きく、果肉が厚く、果肉色の良い加工・業務用向けの品種です。果実は株元近くにつくので省力栽培に向き、収量性の優れる品種です。

育成期間

平成19年 ▶ 平成23年

## 品種の特徴

- 果実の肥大性が優れ、大果となる
- 果肉部が厚いため、加工後のカット面の角が崩れにくい
- 果肉は濃黄色、加工後の色合いも良好
- 密植栽培が可能なため普通品種よりも多収
- 短節間品種で栽培がしやすく、果実が株元に着果するので収穫しやすい



農研機構 北海道農業研究センター



果実が大きく、果肉が厚く、  
濃い黄色で色味が良い加工向き、  
美味しく、栽培、収穫が楽で多収、  
加工業界待望の新品種



# くりひかり

農研機構は株式会社渡辺採種場と共同で、果実が大きく、果肉が厚く、果肉色の良い加工・業務用向けのかぼちゃ新品種「くりひかり」を育成しました。

加熱調理では、普通品種に比べて、煮くすれしにくく、剥き皮による歩留まりが良いので、加工・業務用に最適です。また、果実は株元近くにつくので省力栽培に向いており、収量性も高い品種です。



## 特徴

- 果実の大きさは2.0kg以上で大きく肥大性に優れます。果肉色は濃黄色であり、加工後の色合いが良いです。
- 果肉の質は粉質～中であり、普通品種よりは粉質性が高いです。また、Brixおよび乾物率は普通品種よりも高いです。剥き皮による歩留まりが良く、肉質としてペースト加工等に向きます。
- 生育初期は短節間性で側枝の発生が少なく、果実は株元に着果するため収穫作業が容易です。また、密植栽培により収量増が望めます。

### 調理後の果肉の色調

「くりひかり」は濃い黄色で明るく、色調が普通品種に比べて優れている。

## 栽培上の注意

- 着果後は葉の枯れ上がりによる日焼けが生じやすくなります。
- 気温の高い時期での栽培では短節間性が発揮されません。

## 品種の名前の由来

栗かぼちゃ系であり、果皮が比較的なめらかで、照りがあることに由来します。

## 種子の入手先

- (株) 渡辺採種場より販売されています。  
TEL 0229-32-2221

## くりひかりの主な特性

品 種	果肉色	肉質	Brix (%)	乾物率 (%)	1果重 (kg)	総収量 (t/10a)	節間長 (cm) (15節まで)	側枝数 (30cm以上)
くりひかり	濃黄	中-粉	11.4	22.1	2.4	3242	42	0.7
普通品種	濃黄	粘-中	10.1	17.2	1.6	2268	109	4.6